

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月
結果公表日: 2025年3月27日

回答率

事業所職員: 6名回答、回答率 100%
保護者様: 23名回答、回答率 92%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・クールダウンが必要な時や学習時など、場面に応じてパーテーションを活用している。
- ・トイレや手洗い時には、踏み台を使用して対応している。
- ・法令上の人員体制は組めている。送迎の時間や曜日によっては職員配置が十分ではないと感じる場面があるため、更なる工夫が必要である。

○業務改善

- ・階層別研修や虐待防止研修等の取り組みを定期的に行い、研修を受講した担当職員が全職員に共有している。
- ・業務前ミーティングでは送迎確認、利用者の情報共有や周知、活動内容等を話し合っている。

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画が更新された時には、業務前ミーティングにて共有を行っている。
- ・個別支援計画に基づいた個別課題を作成し、支援を行っている。
- ・活動プログラムが固定化しないように、活動内容を全職員が担当して行っている。
- ・子どもが自己選択や自己決定をする力を育むために、二択形式を活用している。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校とは必要に応じて送迎時に情報共有や、関係機関連携を行っている。関係機関連携は今後も必要に応じて随時行っていく。
- ・保護者様とは、送迎時やお迎え時などでご相談を聞いたり、その日の様子や支援内容などを情報共有している。

○保護者への説明責任等

- ・連絡帳に、取り組んだ個別課題や学習、その日の様子を記載している。
- ・送迎時に、一日の様子や行った支援、対応の内容について口頭での情報共有も行っている。
- ・体調不良やケガをした際には、すぐに連絡をしている。
- ・事業所でのトラブル時の対応を送迎時にお伝えしている。

○非常時等の対応

- ・月に一度、活動で地震・水害・火災・不審者対応など様々な目的を設定し避難訓練を行っている。教室内での避難方法を確認し実践している。クイズ形式にしたり紙芝居や絵本を使用するなど、子どもたちが理解できるように説明を行っている。
- ・研修にて受講した内容を、業務前ミーティングの場で全職員に共有している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・「活動等のスペースが十分に確保されているか」の質問に対して、約7割の方から「はい」の回答をいただいた。「もう少し広くても良い」という意見もいただいた。
- ・職員配置については、約6割の方から「はい」の回答をいただいた。約3割の方から「わからない」の回答をいただいたため、周知方法については工夫を検討する必要がある。

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画についての質問に対して、ほぼすべての保護者様から評価をいただいた。
- ・「活動のプログラムが固定化されないように工夫されているか」の質問に対して、約9割の方から「はい」との回答をいただいた。
- ・「放課後児童クラブや児童館との交流、障がいのない子どもと活動する機会」の質問に対して、半分の方から「どちらともいえない」の回答をいただき、「外部との交流を特に求めている」との意見もいただいた。

○保護者への説明等

- ・「支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか」の質問に対して、9割以上の方から「はい」の回答をいただいた。
- ・保護者会についての質問に対して、「保護者会に参加した」や「都合により他の保護者の方と話せなかったため、次回は交流できたら良い」などの回答をいただいた。

○非常時等の対応

- ・「活動で防災訓練や地震訓練の話を知っている」という回答をいただいた。
- ・一方で、毎月実施している避難訓練などについて全ての保護者様には周知できていない部分もあるため、周知方法の工夫を検討する必要がある。

○満足度

- ・「支援に満足しているか」、「子どもは通所を楽しみにしているか」の質問に対して、9割以上の方から「はい」との回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。
- ・「毎日でも行きたいと言っている」や「通所を始めてから成長をした」などの意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・個別支援計画に基づいて、一人ひとりに合った個別課題の作成や集団療育の活動企画を行うことで、利用者がより成長できるように取り組んでいく。
- ・夏休みや冬休み等の長期休暇や祝日に課外活動や買い物練習を行い、楽しみながら経験の場・学びの場を増やしていく。
- ・昨年度に引き続き、保護者会や療育参観の実施。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・療育参観と保護者会を行い、保護者様同士が交流する機会を設けることができた。
- ・ファストフード店や薬局でのお買い物、様々な公園に行くなど、多くの課外活動が実施できた。
- ・送迎時の職員配置は課題である。
- ・ブログの更新ができなかったため、定期的に更新していく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・個別支援計画に基づいた個別課題の作成を行っている。
- ・子どもたちが楽しく取り組めるように、好きなキャラクターなど子ども一人ひとりの興味・関心に合わせた教材作りを行っている。
- ・活動が固定化しないように、各職員が企画して実施している。
- ・職員同士が密にコミュニケーションをとり、些細なことも情報共有することを心がけている。

○改善点

- ・送迎時を含めた職員体制
- ・緊急時や非常時の対応マニュアルの再周知

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・より安全な教室運営を行うために、それぞれの職員の教室内での役割や場面ごとの対応方法などを定期的に確認、必要な部分は改善する。
- ・非常時や災害時の対応についての周知を定期的に行う。
- ・保護者と利用者のニーズに沿った支援を行えるよう、療育の企画や個別課題の作成を行う。

○1年間で取り組む具体策

- ・公共交通機関を利用するなど、日常生活に繋がる課外活動の実施。
- ・職員のスキルアップのために、外部研修の受講や事業所内研修の機会を増やす。
- ・職員同士でコミュニケーションを密にとり、情報共有や交換することで療育の知識を深める。
- ・ブログの更新頻度を定めて定期的に更新し、療育や教室の様子を発信していく。